

防犯連絡ネットワーク通報

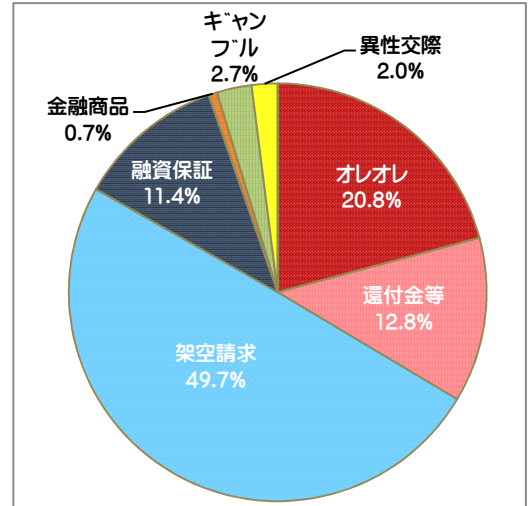
平成 31 年 1 月
警察本部生活安全企画課

特殊詐欺認知状況（平成30年中） ※暫定値

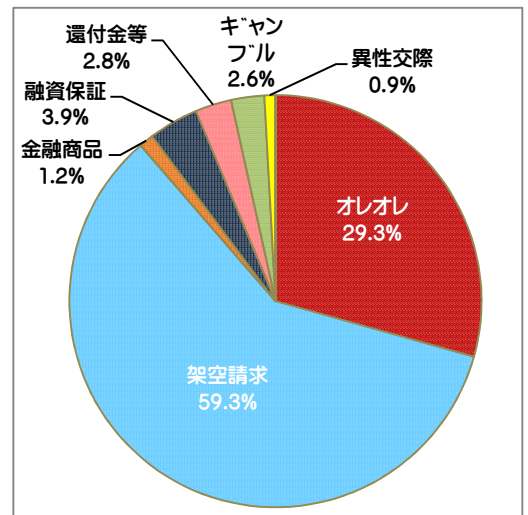
1 特殊詐欺の認知件数・被害額の状況

		認知件数	被害金額
特殊詐欺	H30	149	346,838,627
	H29	307	666,661,921
	増減数	-158	-319,823,294
振り込め詐欺	H30	141	330,805,547
	H29	296	589,388,749
	増減数	-155	-258,583,202
オレオレ詐欺	H30	31	101,782,000
	H29	136	369,401,673
	増減数	-105	-267,619,673
架空請求詐欺	H30	74	205,673,759
	H29	90	159,073,113
	増減数	-16	46,600,646
融資保証金詐欺	H30	17	13,511,033
	H29	25	17,817,101
	増減数	-8	-4,306,068
還付金等詐欺	H30	19	9,838,755
	H29	45	43,096,862
	増減数	-26	-33,258,107
振り込め詐欺以外の特殊詐欺	H30	8	16,033,080
	H29	11	77,273,172
	増減数	-3	-61,240,092
金融商品等	H30	1	4,000,000
	H29	6	71,924,996
	増減数	-5	-67,924,996
異性交際あっせん	H30	3	3,012,000
	H29	0	0
	増減数	3	3,012,000
ギャンブル必勝法	H30	4	9,021,080
	H29	5	5,348,176
	増減数	-1	3,672,904
その他	H30	0	0
	H29	0	0
	増減数	0	±0

【認知件数の内訳】



【被害金額の内訳】



2 12月中に認知した主な被害事例

(1) 動画未納料金請求メールによる架空請求詐欺(約230万円被害)

インターネット通信販売会社をかたる有料動画未納料金請求メールが届き、連絡先に電話すると、「電子マネーを購入して番号を教えるように」と言われ、複数回にわたり、約230万円分のプリペイドカード式電子マネーを購入し、電子マネーの番号を教えてください取られた。

(2) 公共料金の特別給付名目の還付金等詐欺(約100万円被害)

コールセンター職員を名乗る男から、「公共料金の特別給付で払い戻しがある。ATMに着いたら連絡して」と電話が入り、男の指示通りにATMを操作すると口座からの振り込みとなり、約100万円をだまし取られた。

- 平成30年中の特殊詐欺の認知件数は149件で、前年同期と比較して158件(51.5%)減少しています。
- 被害額は約3億4,700万円で、前年同期と比較して約3億2,000万円(48.0%)減少していますが、架空請求詐欺の被害額は2億円を超え、約4,700万円(29.3%)増加しています。
- 被害に遭われた方の年齢層では、高齢者(65歳以上)の割合が約5割(44.9%)を占め、前月比では微減となっています。
- 被害に遭われた方の居住形態は、家族と同居している割合が5割以上(55.1%)となっています。

★ 「(会員)登録料金が未納」のメールや「訴訟告知」のハガキを送りつけてお金を要求する架空請求詐欺が多発しています。